

北海道読書推進運動協議会

# 北読進協だより

第21号



わっかない図書館友の会 「富士見園での手遊び」の様子より

## 《平成22年度優良読書グループ特集》

- 全国表彰（主催：（社）読書推進運動協議会）
- 北海道表彰・北海道地域活動振興協会理事長賞  
（主催：北海道読書推進運動協議会）

読書推進団体の草分けである（社）読書推進運動協議会は、昭和43年から「読書週間」にあわせた「優良読書グループ表彰」（全国表彰）を主催して各都道府県から1グループずつ表彰してきました。

北海道読書推進運動協議会では、この全国表彰に加えて、独自の表彰を毎年行い、地域で活躍する読書グループを表彰をしています。平成17年度からは、財団法人北海道地域活動振興協会理事長賞も創設され、今年度は合わせて9グループを表彰しました。

本特集号では、受賞グループからの寄稿文を掲載します。

### <過去3年間に受賞を受けた読書グループ>

#### ○平成22年度

全国表彰	苫小牧子どもの本の会	苫小牧市（胆振）
北海道表彰	日曜おはなし会しゃぼんだま	千歳市（石狩）
	新婦人福島支部よみきかせのかい	福島町（渡島）
	音更町図書館「すずらの会」	音更町（十勝）
	読み聞かせボランティア「ひだまりの会」	壮瞥町（胆振）
		美幌町（網走）
北海道地域活動 振興協会理事長賞	滝川第三小学校図書ボランティア	滝川市（空知）
	遠別町読み聞かせボランティア「ぐう・ちょき・ぱあ」	遠別町（留萌）
	わっかない図書館友の会	稚内市（宗谷）
	おはなしを楽しむ会おひさま	更別村（十勝）

#### ○平成21年度

全国表彰	絵本の会おはなしはらっぱ	弟子屈町（釧路）
北海道表彰	おもちゃばこ	恵庭市（石狩）
	お話ポケット	厚沢部町（檜山）
	東小学校PTA読み聞かせボランティア「おはなしの会」	滝川市（空知）
	日本よもう！ どんねこ倶楽部	池田町（十勝）
	おはなしポケット	釧路市（釧路）
北海道地域活動 振興協会理事長賞	絵本交流会	当別町（石狩）
	マザーズぽけっと	今金町（檜山）
	おはなしじゃんけんぽん	月形町（空知）

#### ○平成20年度

全国表彰	おはなしサークル たんぽぽ	当別町（石狩）
北海道表彰	当別こども図書館	当別町（石狩）
	旭川絵本の会	旭川市（上川）
	あざらしおはなし会	羽幌町（留萌）
	美幌出前お話会「がらがらどん」	羽幌町（網走）
	読み聞かせサークルうさぎのみみ	音更町（十勝）
北海道地域活動 振興協会理事長賞	滝川第一小学校よみがたりかい	滝川市（空知）
	おはなしくれよん	豊富町（宗谷）
	人形劇サークルくれよん	池田町（十勝）

全国表彰（主催：（社）読書推進運動協議会）

## 苫小牧子どもの本の会（胆振管内 苫小牧市）

### 【団体の概要】

設立年 昭和 60 年

会員数 12 名 代表者名 上田 涼子

平成 17 年度優良読書グループ北海道表彰

### 【発足】

苫小牧子どもの本の会は「……子どもの未来を見つめ、心豊かな日々を願い、ひとりひとりが知恵を寄せあい、学びあって読書運動の輪をみんなで広げていきませんか……略」との一市民の呼びかけに応じて集まった 10 数名で 25 年前に発足しました。児童室が分室であった頃、子ども連れで参加したのを懐かしく思い出します。

### 【活動内容】

発足以来、月 4 回の例会と、図書館の移転に伴い、新館オープンと共に始めた月 2 回の読みきかせを、22 年目の今も変わらず続けています。

毎週木曜日の例会の学習会では、その年のテーマを決め内容を深めていっています。

第 1 週目は読みきかせのための検討会とし、読み合わせをしたり、手遊び等を伝え合ったりしています。

読みきかせは毎月第 1、第 3 日曜日の午後、3時から 30 分間、図書館のおはなしコーナーで 3～5 冊読んでいます。赤ちゃん連れで来る方も増え、毎回赤ちゃん絵本も読むようにしています。また、年に一度クリスマスの読みきかせを企画し、時間も 1 時間に拡大し、パネルシアターや大型絵本、紙芝居等工夫しながら行っています。

読みきかせの計画は半年毎に立て、その時にポスター作りや館内放送等の担当も決めます。年を重ねてもいつも難しく、大事に思うことは選本です。皆で持ち寄り、じゅうぶん時間をかけ検討します。苦労するところですが、“今度はどんな本が”と期待もあり、楽しみな時でもあります。

ここ数年の読みきかせには赤ちゃん連れのお母さんもそうですが、お父さんの姿も多くなったことは変化のひとつです。笑顔や「ああ、おもしろかった」の一言は、絵本の世界を共有できた嬉しさとともに、エネルギーの元にもなります。

また、毎年図書館主催の「青空こどもとしょかん」に参加していることも、活動の一つです。その他、講座や研修を受けたり、講演会に出かけたりして得たことを伝え合い、会のスキルアップに努めています。



### 【今後に向けて】

本の世界が楽しい、ということを子どもに伝えているか、を忘れず本の橋渡しができたらと思っています。もちろん、私たち自身も仲間と共に楽しみながら。

## 北海道表彰

### 日曜おはなし会しゃぼんだま（石狩管内 千歳市）

#### 【団体の概要】

設立年 昭和 63 年

会員数 3 名 代表者名 山内 七重

#### 【はじまり】

千歳市立図書館主催の[読み聞かせ講座]終了後、昭和63年4月に7人でスタートしました。絵本だいすきの仲間です。

#### 【活動は】

図書館で、月に2回の定例おはなし会と、一年に2回図書館で活動している他の読み聞かせグループとの合同でのおはなし会をしています。児童館でも月に2回、小学校で年に1～2回と活動しています。

おはなし会では、来る子供たちに合わせて、パネルや折紙、手遊び、エプロンシアターなどを入れながら楽しく開催しています。

その他、市の育児相談日に図書館が福祉センターで行っている、本紹介と貸し出しのお手伝いを3ヶ月に一度しています。

#### 【これから】

会員が転勤などで減ってしまい、3名での活動はなかなか大変なので、なんとか増やしたいと思っているのですが……。

他の人の、つごうがつかず、ひとりでおはなし会をしたり、他のおはなし会の方や図書館の方に手伝っていただいたりもしています。常に会員募集中です。

子供たちの笑顔で、元気がもらえて楽しい活動だということと、本の癒しの力の素晴らしさと楽しさをこれからも伝えていきたいと思っています。



そして、なによりも自分たちが楽しく続けていけたらいいなと思っています。



## 北海道表彰

### 新婦人福島支部よみきかせのかい（渡島管内 福島町）

#### 【団体の概要】

設立年 平成 14 年

会員数 8 名 代表者名 金谷 由美子

#### 【始まりは】

絵本が大好きな一人の母親の「わが子が通う小学校で読み聞かせをしたい」という思いがきっかけでした。小学校で実現できなかったの、ならば本好きの仲間達と自分達でやっちゃおうと、今から9年前に第3土曜日に町の福祉センターで、“よみきかせのかい”を始めました。



#### 【私たちの願いは】

子供たちに絵本の楽しさ、おもしろさを伝えたい。また、子育て中のお母様お父様にもよみきかせの楽しさや大切さを伝えたいと思っています。

お母様やお父様による日常的なご家庭での読み聞かせが行われて、子供たちが絵本好きになり、やがて読書好きな大人に成長してくれたらいいなと思っています。

私たちのささやかな活動がそのきっかけとなったら、最高です。

#### 【活動内容】

会の発足の当初から、教育委員会や図書室の方々に応援をいただいて活動してきました。そのおかげで、徐々に活動の場が広がってきました。

月一回の福祉センター図書室での読み聞かせ会に加え、6年前からスタートした町のブックスタートで、赤ちゃん達へ読み聞かせをし、お母様方に読み聞かせの大切さや重要性をお伝えしています。（ブックスタート事業を福島町で導入するのに一役を担いました）

4年前からは移動図書での二つの小学校での読み聞かせをしています。毎年の町民文化祭や健康フェスティバルでの読み聞かせ会、要望に応じて、保育所や小学校へ読み聞かせの出前もしています。

絵本をみつめる子供たちの真剣なまなざし、はじけるような笑顔が私たちの活動のエネルギー源になっています。

#### 【これから】

これからも図書室の方のお力も借りながら、無理をせず、楽しみながら、地域の皆さんに絵本の楽しさを伝え続けていきたいと思っています。



## 北海道表彰

### 音更町図書館「すずらんの会」(十勝管内 音更町)

#### 【団体の概要】

設立年 平成 11 年

会員数 23 名 代表者名 高岩 和子

#### 【はじまり】

平成 11 年 12 月、音更町図書館の移転オープンに合わせて、“町民の立場から何か役に立ちたい”と、思う仲間が集い発足しました。

#### 【活動内容】

##### (1)「読み聞かせグループ」の活動

✧ 第 5 週を除く、毎週土曜日の午前 10 時 30 分から約 30 分～40 分間、図書館のお話ルームで活動しています。毎回 3 人～4 人が、3 冊ほどの絵本に紙芝居を含めて持ち寄り、その場に応じた絵本を読むように心がけています。来てくれて、聞いてくれて、笑顔でバイバイ！のお子さん達から、活動のエネルギーをもらっています。



✧ 乳児の 10 ヶ月健診に合わせて実施しているブックスタートで、絵本の読み聞かせや紹介をしていますが、その成果として、図書館お話ルームへの参加者が増えてきています。



##### (2)「図書館事業の協力グループ」の活動

✧ 日本古来の四季折々の伝統行事を、伝えていく雰囲気づくりのために、利用者(幼児から大人まで)の協力を得て、5月の「こどもの日」・7月の「七夕」・12月の「クリスマス」・3月の「ひな祭」に合わせて、館内の飾り付けを行っています。

✧ 図書交換会を年 3 回(7月・11月・3月)と古雑誌市(7月)を開催しています。

✧ 布の絵本を作成して、図書館へ寄贈しています。

##### (3) その他、全員が協力しあう活動として、

◆「こども図書館まつり」を 7 月と 12 月に開催。 ◆ ブックスタートの協力(毎月 1 回)。

◆ 夏休み、冬休み工作教室の補助。 ◆ 絵本原画展での会場内監視。 ◆ 研修会への参加。

など、協力できる内容を総会で決めて、“自分にできる部分を、できる範囲で引き受ける”という形で、これまでの 11 年間、図書館ボランティアとしての共通意識のもと、意欲的にかつ和やかに、活動を軌道に乗せてきました。

#### 【今後に向けて】

“気張りのない、親しみある笑顔”が、私たち「すずらんの会」の雰囲気かと思えます。今回の受賞を、更なる励みに、会員相互の絆を深め、活動の充実と継続に努めたいと考えています。



## 北海道表彰

### 読み聞かせボランティア「ひだまりの会」(胆振管内 壮瞥町)

#### 【団体の概要】

設立年 平成 11 年

会員数 10 名 代表者名 谷岡 典子

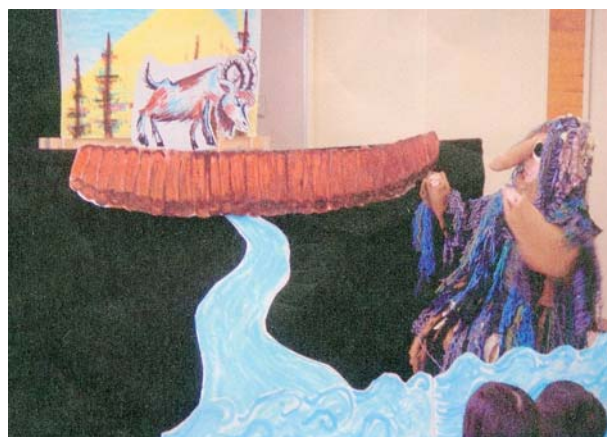


#### 【はじめに】

「こんにちは！ひだまりのひな子です！」と私たちの会はマスコットガール(手作り人形)ひな子で挨拶が始まります。身長 75cm のひな子は季節の洋服を身にまとい、雨の日には傘をさし田んぼに穂が実る頃には稲をもち、愛嬌をふりまく人気者です。会の名前は「春のひだまりのようなあたたかいイメージの中で活動ができたらいね」という思いでつけられました。

#### 【活動内容】

教育委員会の呼びかけで集まったメンバーの顔合わせからはじまり①人前で声を出す発声練習 ②近隣の読み聞かせグループの見学 ③研修会などへの参加 ④読み聞かせをする場所探しなど、ゼロからの出発で一つ一つ積み重ねる思いで自分たちの会を形作っていきました。最初 1 回だけのお願いでさせてもらった読みきかせも、気がつくとも毎月 1 回 1 年を通して頼まれることとなり、現在は育児サークル・小学校(授業 1 時間をいただき 1～3 年生対象)・特別養護老人ホームで定期的に行っているほか、教育委員会主催の図書フェスティバル・親子ふれあい探検隊に参加させてもらっています。



毎年 12 月に行なう手作りペーパースーツ『三びきのやぎのからがらどん』



特別養護老人ホームでの読み聞かせ

#### 【これから】

このたびの表彰は私たちに更なる力を与えてもらったように思います。プレゼントされた図書券は図書室の大型絵本となり活用するつもりです。メンバーは 30 代から 70 代の幅広い年齢構成ですが、それぞれの持ち味をいかした選本と読みが魅力の 1 つであり皆忙しいにもかかわらず出席率がよく、支えあって励ましあっていきます。絵本からエネルギーをもらい、子どもからお年寄りまで絵本の魅力を伝え、こぼれる笑顔に支えられ、これからも努力を忘れず、楽しく続けられたらいいなと思っています。

## 北海道表彰

### いろりの会（網走管内 美幌町）

#### 【団体の概要】

設立年 平成 14 年

会員数 10 名 代表者名 田中 正一

#### 【名前の由来】

囲炉裏を囲んで、おじいちゃん、おばあちゃんの昔話や、子供の頃の話やを聞く…そんな情景が目につく、そのころの世代を知る男性会長の提案に、会員の婦人一同が賛同してくれた。

美幌図書館50周年を機に平成14年6月発足。出前読み聞かせ いろりの会（通称いろりの会）。



#### 【組織・活動内容】

会長 1 名 総務（事務局） 1 会計 1 その他会員（7 名） 現在総員 10 名

毎月第 1 水曜日・第 3 水曜日の 2 回、図書館に午後 2:30 集合します。その日の出し物や、担当者、ポジションの確認など打ち合わせの後、町立の美幌保育園と東陽保育園へ交互に（1 回／月）絵本の読み聞かせに出かけます。年長・年中・年小、それぞれの部屋に 2 名の読み手、最低必要人員です。欠席者が出て安心です。全員出席のときは 1 名が待機者になりますが、一緒に参加して傍聴、研修です。（時間と要望のあるときは 3 名が読むことも、手遊びなど楽しんだり）



会員は元保母さん、元教員、その他熟年のオバサンたち、底抜けに明るく笑いが絶えない。発足以来の会長は黒一点です。今年 80 歳、まだまだ元気なようで、孫、曾孫のような幼児に、「じいちゃん、じいちゃん」とすがられて相好を崩します。会員様に、幼児とのふれあいを楽しみにして「かえって、私たちが癒されるよね…」と。恒例の図書館フェスティバルでは「がらがらどん」（別のサークル）と共催活動したり、近隣の研修会にも積極参加します。折に触れ新会員募集の PR もしています。



## 北海道地域活動振興協会理事長賞

### 滝川第三小学校図書ボランティア（空知管内 滝川市）

#### 【団体の概要】

設立年 平成 14 年

会員数 5 名 代表者名 高橋 智子

#### 【グループ成立の経緯】

三小図書ボランティアグループは、学校図書館の整理、古い本の整理、廃棄、修理、登録事務などのボランティア活動から始まりました。当時、学校の図書館は古い本で溢れており、まるで本が泣いているようだったそうです。その後、ボランティア活動に参加してくれるメンバーが次第に増えてきたことから、この人数でなら“読み聞かせ”もできるのではないかと校長先生をはじめ、担当の先生方と話し合いを重ね、“読み聞かせ”の時間を設けられることになったと伺っております。

#### 【活動内容】

毎週水曜日、2 時間目の休み時間（20 分休み）を利用して、絵本を 2～3 冊読んでいます。時には、紙芝居、大型絵本、パネルシアターなども行っています。主に 1・2 年生が中心ですが、みんな目をキラキラ輝かせながら毎回、30～40 人ほど集まります。

また、読み聞かせをしている教室の掲示板上に季節に合った飾り付けなどもしています。



#### 【これからの抱負】

設立当時、とても苦勞されて学校図書館を整理され、子ども達のために何かできることは無いかと探りながら始まった“読み聞かせ”をこれまで大切に引き継いできました。子どもの卒業などに伴い、一時期は、10 名以上いたメンバーも現在は実質 4 名で活動しています。最近、一人の負担が大きくなってきているので新メンバーをどんどん募りながら、これからも活動をして行きたいと思っております。



北海道地域活動振興協会理事長賞

遠別町読み聞かせボランティア「ぐう・ちょき・ぱあ」  
(留萌管内 遠別町)

【団体の概要】

設立年 平成 18 年

会員数 12 名 代表者名 小鹿 由美子

●私達「ぐう・ちょき・ぱあ」は、

- ・ お話の部屋（毎月1回・絵本2冊、工作または運動）
- ・ リトルキッズおはなしかい（毎月1回・絵本、ペープサート、紙芝居、手遊び等）
- ・ 幼児センターでの、出前読み聞かせ（年3回・大型絵本、パネルシアター等）
- ・ 小学校での、読み聞かせ（毎月1回、11月は毎週・中休みに絵本1冊）
- ・ 読み聞かせライブ（年1回・毎年町民文化祭時に開催、

22年度の内容は、手遊び、絵本、エプロンシアター、  
大型絵本、ロールシアター、歌遊び、でした）

読み聞かせの他に、マナピィ・21図書室や小学校図書館の図書整理、飾り付け等、環境整備を行っています。



メンバーの大半がお勤めしていて、実際に活動できるメンバーは3人程度と、少ないですが、マナピィ・21図書室と遠別町教育委員会の協力もあり、楽しく活動しています。

今後も、皆で力を合わせて、無理はせず、楽しく読み聞かせ活動を続けて、たくさん子ども達の笑顔に出会いたいです。



## 北海道地域活動振興協会理事長賞

### わっかない図書館友の会（宗谷管内 稚内市）

#### 【団体の概要】

設立年 平成 15 年

会員数 80 名 代表者名 永井 允



ロビーコンサート

平成 15 年（2003）、市立図書館が南地区大黒 4 丁目に新築移転したことを機に地域住民が中心となり設立いたしました。

メンバーは約 100 名。

多くの方が図書館に興味を持って足を運んでいただき、気軽に利用ができ、また施設が交流の場としても有効に機能できる事を目指し活動しています。

#### 主な活動は

- ・ 図書館周辺の環境美化（花壇の整備、芝刈り、樹木の保存等）  
友の会メンバーのほかにも地域の事業所団体の協力も頂いています。
- ・ 読み聞かせ（図書館で幼児向けに、老人ホームに出張読み聞かせ）
- ・ 図書館の事業への参加（図書館まつり、お話し会・ロビーコンサート等）  
ロビーコンサートは月 1 回のペースで高校 3 校の他、いろいろな方に演奏していただいています。
- ・ 図書館を使った事業（アイスクャンドル事業、ハロウィン事業等）  
こちらも町内会、地域事業所の方たちなどと、地域ぐるみで開催しています。

世代を超えていろいろな人が、図書館を通じて本に親しみ、そして多くの人と顔見知りになって、今以上に地域のためにいろいろなことが出来るようになればと思います。



アイスクャンドルの風景



## 北海道地域活動振興協会理事長賞

### おはなしを楽しむ会おひさま（十勝管内 更別村）

#### 【団体の概要】

設立年 平成 16 年

会員数 9 名 代表者名 飯塚 れい子

#### 【はじまりは】

2004年、更別小学校の保護者2名で活動を始めました。現在は10名おり、仕事・家事・育児などをやりくりしつつ、それぞれの持ち味を活かした読み聞かせをしています。

#### 【活動の基本は】

更別小学校での月に一度のおはなし会です。プレイタイムという午前中の休み時間に図書館をお借りして、絵本1～2冊の読みきかせをしています。また、時々機会をいただいて更別幼稚園やどんぐり保育所などにおじゃまするときもあります。通常の絵本だけでなく、大型絵本の迫力を味わったり、国際交流員の方をおまねきして英語やフランス語で読んでいただいたり、絵本を持たずに身振り手振りを交えての「語り」をしたり……時には滑ったり転んだりして落ち込むこともありますが、子どもたちの真剣なまなざしや、ふとみれる笑顔に励まされながら、楽しく続けています。

#### 【最近のおはなし会の様子、そしてこれから】

2月のおはなし会では、春に入学する保育園の年長児さんが遊びに来てくれました。一緒に簡単なお手玉を楽しみ、昔ばなしに楽しそうな声を上げてくれました。おはなし会が、小学校に親しむきっかけのひとつになってくれればいいなあと思っています。

3月には、もうすぐ卒業する6年生に、メンバーの6年生の保護者中心に、授業の時間をいただいて読みきかせをします。いつものおはなし会では、低学年向けの短くわかりやすい絵本を選びがちですが、この機会には、もうすぐ中学生になる子どもたちへの思いをこめて、いつもとはちがった選本をします。



「こどもはことばを食べるんですよ」という松居直さんの言葉があります。子どもたちが、耳からおいしいことばを聴く体験をたくさん重ねて、自分はたいせつに育てられているを感じることができるよう、メンバー一同願っています。



---

## 北読進協だより 第21号

発行年月日 平成23年3月24日

編集・発行 北海道読書推進運動協議会事務局

〒069-0834 江別市文京台東町4-1番地

北海道立図書館業務部市町村支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-388-2063 (業務部直通)

HP 北海道立図書館 HP 内

URL:<http://www.library.pref.hokkaido.jp/index.html>

(北海道立図書館 HP)

TOP ページ>連携のページ(関係団体等)>北海道読書推進運動協議会

---

「北読進協（ほくどくしんきょう）」は、（社）読書推進運動協議会発足の翌年、昭和35年に発足した、全道の読書普及に努めることを目的とする団体です。